



総研大ニューズレター

第 65 号 2013. 10 発行

●目次

【今月のトピックス】	「平成 25 年度学位記授与式 挙行 「プレスリリース 「KEK 一般公開 2013 「葉山セミナー/賢さだけじゃない！カラスという生き物の面白さ -鳴き声と視覚に関する研究の紹介- 「宇宙科学研究所の大学共同利用窓口の新たな試み	総務課 極域科学専攻 高エネルギー加速器科学研究所 学融合推進センター 宇宙科学専攻
【基盤機関からのお知らせ】		
【各種募集】		
【イベント情報】	主なイベント予定 10月7日 入学式 10月7日～8日 学生セミナー 10月19日 比較文化学専攻 大学院説明会 10月26日 日本文学研究専攻 入試説明会 10月27日 日本歴史研究専攻 大学院秋季説明会 10月31日 国際日本研究専攻 入学試験説明会 11月8日 統計科学専攻 大学院説明会 11月16日 基礎生物学専攻 大学院説明会 11月16日 生命共生体進化学専攻説明会 11月25日～26日 総研大創立 25 周年記念「はじまり」シンポジウム	

【今月のトピックス】

● 平成 25 年度学位記授与式を挙行

9月27日（金）に葉山キャンパス 2 階講堂において、平成 25 年度学位記授与式が行われました。（修了生は、課程博士 24 名、論文博士 3 名、修士課程 1 名。今回含め、これまでの修了生は、課程博士 1644 名、論文博士 227 名。）

式典に先立ち、奥田暁仁さんによるピアノ演奏が行われました。

式典は、開式の挨拶の後、修了生一人一人に、高畑学長より直接学位記が手渡され、修了生は長年の大学院生活の締めくくりとして、感慨もひとしおのようでした。

その後、学長より式辞があり、出席者は真剣な面持ちで聞き入っていました。

最後に、修了生代表としてメディア社会文化専攻の小野寺英子さんより謝辞が述べられ、閉式となりました。



【文責 総務課】

● オーロラの全天周 3D プラネタリウム映像からオーロラの発光高度分布を測定する新手法を開発

国立極地研究所 宙空圏研究グループ・総合研究大学院大学の片岡龍峰准教授ほか、名古屋大学太陽地球環境研究所、東京大学等からなる研究チームは、オーロラの魚眼デジタルカメラ撮影を 8km 離れた 2 地点で同時に行うことで、立体感のあるオーロラの 3D プラネタリウム上映に成功してきました。オーロラの細やかな構造が立体視できるということは、オーロラの高さ分布を逆算できるはずですが、そこで、人間の左右の眼が物体への距離感を測る原理と同様の手法を用いてオーロラの高さ分布を求めた結果、これまでの研究成果と整合的かつ高精細なオーロラの発光高度分布が得られることがわかりました。この研究成果は、世界各地で写真家や愛好家が同時に撮影したオーロラ写真を集めて同様に分析することで、従前の科学的手法だけでは補いきれなかった多角的な情報を得ることができるため、オーロラ科学の進展に重要な貢献が生まれる可能性を秘めています。

この研究成果は 9 月 6 日発行の「Annales Geophysicae 誌」に掲載されました。

(研究の背景)

宇宙からは常に、高速の粒子が地球の大気に降り注いでいます。その中で、人間の目にもはっきりと見える発光現象がオーロラです。宇宙から地球の大気へ降り注ぐ電子一つ一つのエネルギーが高いほど、大気の深いところ、つまり低い高度まで電子が到達し、そのエネルギーを受けた大気中の原子や分子がエネルギーを失うときにオーロラとして発光します。つまり、オーロラの高さを調べることは、地球の大気を使って、宇宙から降り注ぐ電子のエネルギー分析をしていることとなります。このようにオーロラの発光形態を立体的に明らかにしつつ、総合的に研究することで、地球の大気が宇宙から受けるインパクトや、その仕組みが明らかになり、宇宙と地球のつながりの過去や未来を知るためにも重要な、基礎的な情報を与えてくれます。

オーロラの高さ分布を立体視の原理で調べる研究は、オーロラの発生原理も分からなかった 100 年ほど前から取り組まれている古典的なものです。近年、デジタル一眼レフカメラの感度とピクセル数が急速に高まり、過去とは比べものにならない高精細なオーロラ画像を、比較的安価に取得することが可能になりました。この点が、本研究の一番の特徴となっています。「オーロラは立体視できるか？」をテーマに掲げたオーロラ 3D プロジェクト (<http://aurora3d.jp>) は、その科学アウトリーチ活動の一環として、Nikon からの機材提供を受けた魚眼デジカメ立体撮影と、科学技術館のシンラドームにおける 3D 上映実験を 2010 年から繰り返してきました。半透明でぼんやりとしたオーロラが、そもそもうまく立体視できるかどうか自体が、オーロラの専門家の中でも意見のわかれるところでした。

2012 年の暮れから 2013 年の春にかけて、新たに撮影したオーロラ映像を使って実際にオーロラの 3D 上映を行った結果、目前に立体的に浮かび上がるオーロラは驚くほど美しいものでした。オーロラの細やかな模様を立体視で詳細に観察できるということは、原理的にオーロラの高さ分布が逆算できるはずだとの確信を得て、オーロラの高さ分布を実際に求めたものが本研究成果です。

(研究方法)

水平距離で 8km 離れた 2 地点 (アラスカ大学のポーカーフラット実験場と、オーロラロッジ) でオーロラの魚眼デジタルカメラ撮影を行いました。人間の左右の目が物体への距離感を掴むのと同様の原理を視野角で 1 度ごとに適応することでオーロラの高さ分布を求めました。

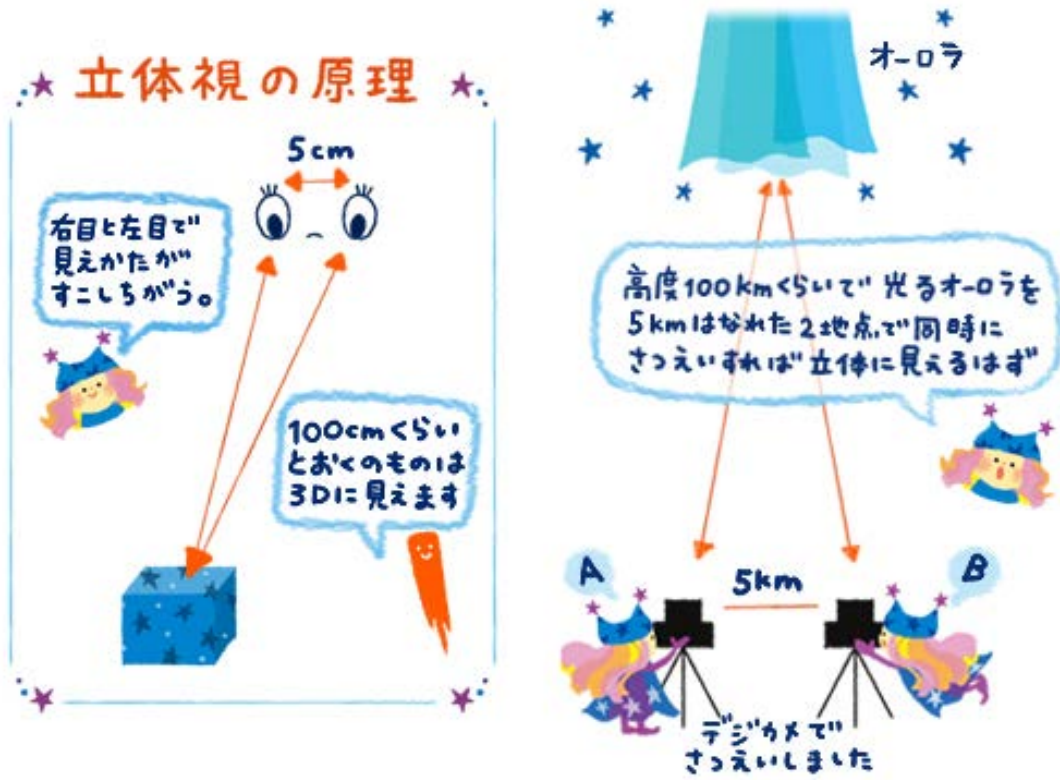


図1：オーロラを立体視する原理（絵：川添むつみ、aurora3d.jp より転載）



図2：ポーカークラット実験場（左）とオーロラロッジ（右）の設営風景

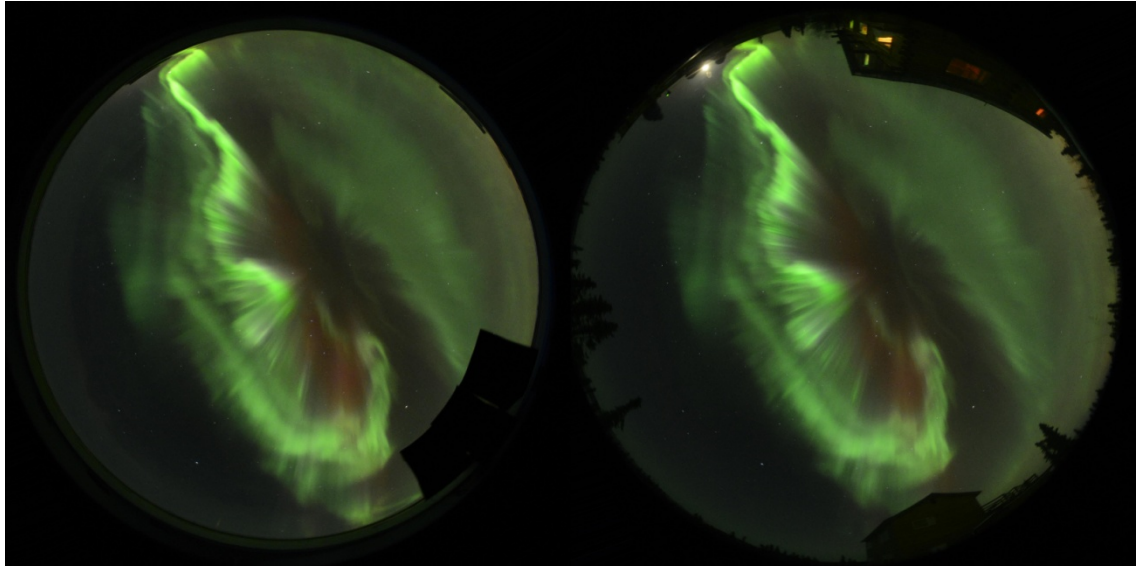


図3：ポーカーフラット実験場（左）とオーロラロッジ（右）で撮影した魚眼写真の例

（研究成果）

撮影に成功したオーロラの魚眼映像は図3のようなもので、空全体が映り込みます。円の中心が天頂で、そこから等視野角間隔で撮影されています。図3のように色に赤みのあるカーテン型のオーロラは主に高度 100-400 km で光っており（図4左）、ぼんやりと脈を打つように変化するオーロラは主に高度 80-90 km という低い高度で光っている（図4右）ことが推定されました。これらの結果は、後者のオーロラのほうが桁違いに高い数 10 キロエレクトロンボルトのエネルギーを持つ電子によって発光するという過去の研究結果と整合的な結果になっています。

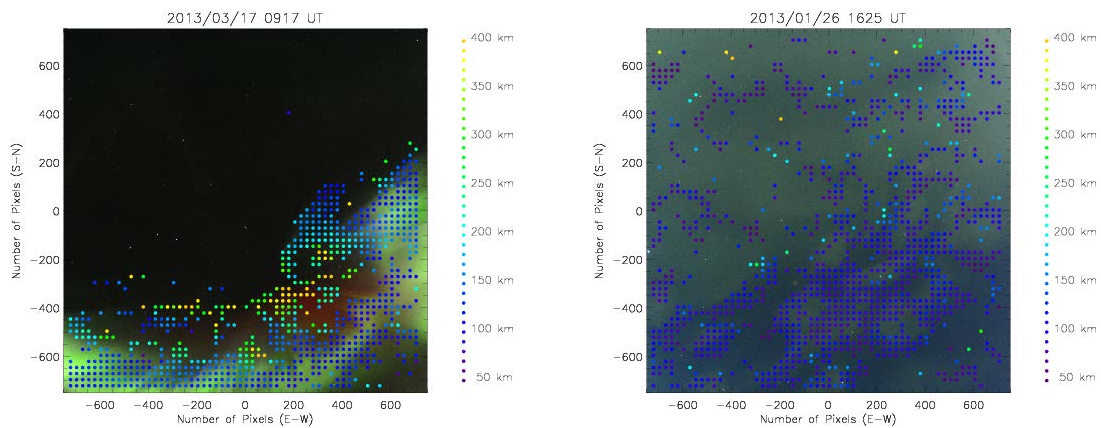


図4：本研究で得られた、赤みのあるカーテン型のオーロラ（左）とぼんやりと脈を打つオーロラ（右）の全天映像中心部における発光高度分布図。ドットの色が推定高度を表す。

（今後の展望）

本研究の高度分布推定手法は、適切な距離間隔を置いて同時に撮影されたオーロラのデジタルカラー写真全般に適用することができます。また、正確な時間と位置情報を写真ファイルに記録する GPS ユニットも安価で使いやすいものが市販されてきました。つまり、世界各地で写真家や愛好家が同時に撮影したオーロラ写真を結集することが、宇宙から降り注ぐ電子のエネルギーを調べる分析装置となり、その他の科学観測と相補的な役割を果たすため、市民ネットワーク参加型の新しいスタイルの研究として、従前の科学的手法だけでは補いきれなかった多角的な情報を得ることができるため、オーロラ科学の進展に重要な貢献が生まれる可能性を秘めています。

(発表論文)

この研究成果は 2013 年 9 月 6 日発行の *Annales Geophysicae* 誌に出版されました。

・論文タイトル

Stereoscopic determination of all-sky altitude map of aurora using two ground-based Nikon DSLR cameras

(2 台の Nikon デジタル一眼レフカメラを用いたオーロラ全天高度マップの立体測定)

・著者

Ryuhō Kataoka (片岡 龍峰: 国立極地研究所・総合研究大学院大学)

Yoshizumi Miyoshi (三好 由純: 名古屋大学)

Kai Shigematsu (重松 界: 名古屋大学)

Donald Hampton (ドナルド ハンプトン: アラスカ大学)

Yoshiki Mori (森祥樹: 静岡大学)

Takayuki Kubo (久保 堯之: 東京大学)

Atsushi Yamashita (山下 淳: 東京大学)

Masayuki Tanaka (田中 正行: 東京工業大学)

Toshiyuki Takahei (高幣 俊之: オリハルコンテクノロジーズ)

Taro Nakai (中井 太郎: 名古屋大学)

Hiroko Miyahara (宮原 ひろ子: 武蔵野美術大学)

Kazuo Shiokawa (塩川 和夫: 名古屋大学)

・論文出版情報

Annales Geophysicae, Vol.31, No.9 (2013 年 9 月 6 日発行)

本件問い合わせ先

(研究成果について)

国立極地研究所准教授・総合研究大学院大学准教授

片岡龍峰 (かたおか りゅうほう)

TEL:042-512-0929 FAX:042-528-3499 E-mail: kataoka.ryuho@nipr.ac.jp

(報道について)

国立極地研究所広報室 小濱広美 (おばま ひろみ)

TEL:042-512-0655 FAX:042-528-3105 E-mail:kofositu@nipr.ac.jp

【文責 極域科学専攻】

● KEK つくばキャンパスで一般公開 2013 を開催

9月8日(日)、KEK つくばキャンパスの一般公開を開催しました。時折、強い雨脚となるあいにくの天候にもかかわらず、約4,300名の方々にご来場をいただきました。

毎年の一般公開の目玉である特別講演には、カブリ数物連携宇宙研究機構の村山 斉 機構長による「宇宙の始まりに素粒子で迫る」と、広島大学大学院生物圏科学研究科の上野 聡 教授による「チョコレートの物理学 –おいしさをつくる技術–」と題した講演を行い、小林 誠 特別荣誉教授にちなんだ小林ホールで、科学の楽しさが紹介されました。



一般公開の大きな魅力は普段見ることが出来ない加速器や測定器、研究所の様子を味わっていただけることです。今年的一般公開では全部で13ヶ所の研究施設が公開されました。今年は「ERL 開発棟」が新たに公開される施設に加わり、ここでは建設中の加速器の様子を間近で見学できる滅多にない機会となりました。

おもしろ物理教室「サイエンスショー」、「ラジオを作ってみよう」、「科学おもちゃであそぼう!」、「霧箱教室」、「量子色力学カードゲーム」、「第2回小林誠杯 クイズ王決定戦」など、参加・体験型催しも機構の各所で行われました。

研究本館では、安全に関する取り組みについての展示や、海外の加速器施設や東海キャンパスでの研究なども紹介。「なんでも質問コーナー」では、普段から物理学や科学についての質問をお持ちの皆様に、機構の研究者がお答えしました。

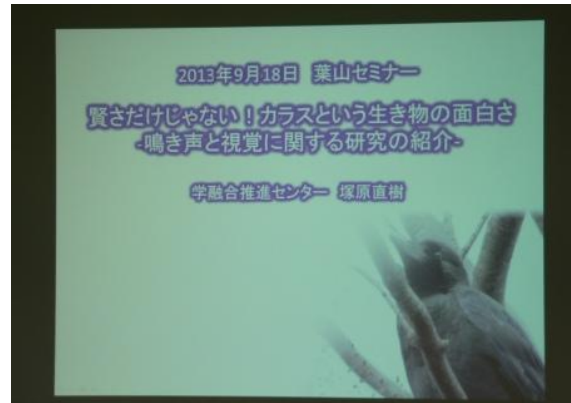
会場には「総研大コーナー」も設けられ、KEKに置かれている各専攻のことなどが紹介されました。



【文責 高エネルギー加速器研究機構 広報室】

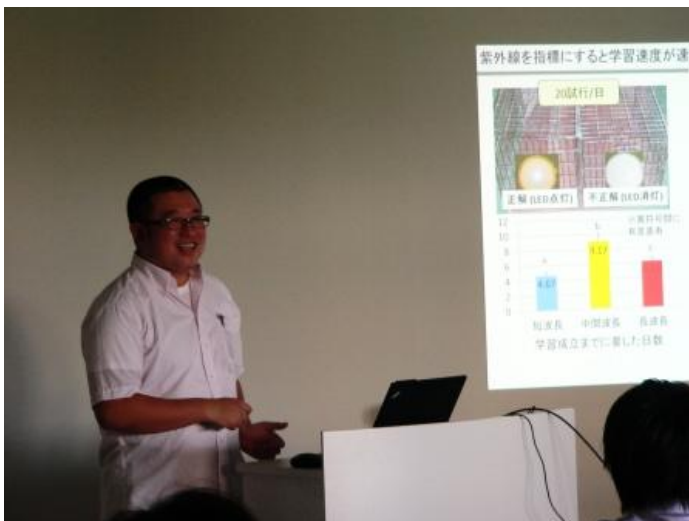
● 2013年9月18日に行われた葉山セミナー「賢さだけじゃない！カラスという生き物の面白さ -鳴き声と視覚に関する研究の紹介-」の概要

本年4月に学融合推進センターの助教として着任いたしました塚原と申します。これまで宇都宮大学農学部にてカラスの研究をしてきました。解剖学を専門とする研究室に所属しており、鳥の発声器官や眼球に関わる形態学的な仕事を主としてきました。ただ、個人的には基礎研究よりも応用開発に興味を持っておりまして、カラスの音声コミュニケーションを利用したカラス被害対策なども行ってきました。9月18日の葉山セミナーでは、これまで行ってきたカラスの鳴き声や視覚に関する研究について、カラス被害対策への応用研究も踏まえお話させていただきました。



この場では、その概要を一部ご説明させていただきます。

硬いクルミの殻を車にひかせ中身を食べる、枝を使って木の中に住む幼虫を釣って食べるなど、その知的行動が観察され、賢さで脚光を浴びているカラスですが、賢さ以外にも興味深い特徴を持っております。



例えば、我々の身近でよく見かけるカラスにハシブトガラスというカラスがおりますが、ハシブトガラスの鳴き声は非常に多様です。私がハシブトガラスのボキャブラリーを調べようと、鳴き声の分類を試みたところ、少なくとも41種の異なる音響的性質の鳴き声があることがわかりました。多様な鳴き声を持っているカラスは発達した音声コミュニケーションを行っている可能性があります。私はこれを利用すれば、カラスの行動制御が可能かもしれないと考えました。そこで、カラスの逃避時の行動を観察した結果、その際に発せられる鳴き声には、数種の鳴き

声の組み合わせによるパターンがあることに気づきました。それを録音し、カラスの群れに向けて再生するとカラスの群れは離散しましたが、同じ音声を連続で再生するとすぐに慣れてしまうので、組み合わせパターンにバリエーションを設けるなどの工夫を行った結果、効果の持続が確認できました。この技術の特許化し、企業との共同開発による製品化を行いました。しかしながら、ねぐらなどのカラスにとって執着が強い場所などでは効果が無い場合もあり、まだまだ改善する余地があります。

この他の面白い特徴として、カラスは優れた色覚を持ち、紫外線をも認識することができます。と言っても、これは多くの鳥に共通する特徴ですが、人とは見ている色が異なるという点で、カラス対策に応用できるのではと思います、私は注目しております。そこで、紫外線の有る光環境下と無い光環境下で、食品のハムとその食品サンプルを使って、カラスに選択させるという実験を行いました。すると、紫外線が有る光環境下では高い確率でハムを選ぶのですが、紫外線の無い光環境下ではハムを選ぶ確率が下がり、ハムと食品サンプルを識別できないという実験結果となりました。これは、カラスが物を識別する上で、紫外線が重要であることを示唆しております。このことは、カラス被害対策を行う上で、ひとつの鍵となるカラスの特徴であると私は考えており、詳細は伏せますが、この特徴を利用した応用研究を現在行っております。

せっかくの全学の先生方の目に触れる場ですので、厚かましく宣伝をさせていただきますが、これまでの枠を超えて、様々な分野の先生方との共同研究を積極的に行っていきたいと考えております。ご興味を持たれた方は塚原直樹のサイト (<http://tsukahara.ojaru.jp/>) までアクセスしていただき、コンタクトをとっていただけますと幸いです。



【文責 学融合推進センター】

【基盤機関からのお知らせ】

● 宇宙科学研究所の大学共同利用窓口の新たな試み



宇宙科学研究所は、大学共同利用課に設置されているユーザーズオフィスの体制を10月1日から大幅に刷新しました。

宇宙科学研究所は、独立行政法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）に組み入れられた以降も、大学共同利用機関時代の精神を継承し「大学共同利用システム」という制度によって運営されてきましたが、機構特有の諸制度の影響で、大学共同利用の機能が研究者コミュニティや大学から見えなくなっていたことから、大学のユーザーから強い要請のある共同利用・共同研究の利用環境の改善を図る様々な取り組み

が行われてきました。

ユーザーズオフィスは、大学共同利用目的で同研究所を利用する研究者の利便性向上のために設置された各種手続きを集約して処理するワンストップ窓口で、平成24年4月から運用しています。IDカードの発行やネットワークの利用の申請、旅費の請求や宿泊施設利用など各種申請も利用者がポータルサイト上で可能とするなど、ハードのユーザーズオフィス、ソフトのポータルサイトを両輪として機能させ、総合的なユーザーサポート体制を実現してきました。

今回、安全性と拡張性を備えたクラウドサービスの導入によりポータルサイトを再構築しました。自在な設計が可能な管理者機能を使うことによって、これまで業務マニュアル化と業務フロー適正化を進めていたユーザーズオフィス運営を全面的に業務委託化が実現し、労働者派遣法の抵触日問題を回避することも可能となりました。

クラウドサービスにより構築されたポータルサイトは、ユーザー管理機能の拡張性が高く、様々な環境に適用できることから、業務フローを適正化した業務委託パッケージとともに、広く他機関でも利用可能なシステムとして、今後の発展が期待されています。

【各種募集】 現在公募中の情報

事項	応募期間	提出先
学融合推進センター 研究論文助成	随時	総合研究大学院大学 学融合推進センター事務係
http://cpis.soken.ac.jp/htdocs/?page_id=68		
平成25年度(第19回)総合研究大 学院大学長倉研究奨励賞募集	12月12日まで(申請資格に該当する者のみ)	詳細はURLを参照
http://www.soken.ac.jp/news_all/2993.html http://www.soken.ac.jp/en/news/0263.html		

【イベント情報】

●総研大の行事

10月

日程	時間	行事名	場所
7日(月)	13:25-14:25	入学式	総研大葉山キャンパス
http://www.soken.ac.jp/news_all/3138.html			
7日(月)- 8日(火)	(7日)14:25- (8日)17:30	学生セミナー	総研大葉山キャンパス
http://www.soken.ac.jp/news_all/3138.html			
9日(水)- 10日(木)		日本語講座	総研大葉山キャンパス
http://www.soken.ac.jp/news_all/3138.html			
19日(土)	13:00-16:00	比較・文化学専攻 大学院説明会	国立民族学博物館 第3セミナー室
http://www.minpaku.ac.jp/research/education/university/apply/opencampus			
26日(土)	13:00-17:00	日本文学研究専攻 入試説明会	国文学研究資料館
http://www.nijl.ac.jp/~kyodo/soken.files/enter/seminar.html			
27日(日)	13:00-16:00	日本歴史研究専攻 大学院秋季説明会	国立歴史民俗博物館 大会議室
31日(木)	13:00-15:00	国際日本研究専攻 入学試験説明会	国際日本文化研究センター
http://www.nichibun.ac.jp/ja/education/graduate_s.html			

11月

日程	時間	行事名	場所
3日(日)	10:00-12:00	先導科学研究科学術講演会	総研大葉山キャンパス
http://www.soken.ac.jp/news_all/3156.html			
8日(金)	14:00	統計科学専攻 大学院説明会(平成25年年度第2回)	統計数理研究所
16日(土)	13:00-	基礎生物学専攻 大学院説明会	秋葉原UDXカンファレンス
http://www.nibb.ac.jp/graduate/index.html			
16日(土)	13:00-17:00	生命共生体進化学専攻 大学院説明会	秋葉原UDXカンファレンス 会議室type120E
http://www.esb.soken.ac.jp/admissions/open_campus/20131116.html			
25日(月)- 26日(火)	13:00- 16:20	総研大創立25周年記念 「はじまり」シンポジウム	総研大葉山キャンパス
http://www.soken.ac.jp/news_all/3170.html			
25日(月)	18:00-	総研大創立25周年記念式典・祝賀会	湘南国際村センター

12月

日程	時間	行事名	場所
10日(火)- 13日(金)		アジア冬の学校	核融合科学研究所
http://www-nsrp.nifs.ac.jp/aws2013/index-j.shtml			

●基盤機関の行事

10月

日程	時間	行事名	場所
7月11日(木)- 11月5日(火)	10:00-17:00	企画展「武器をアートにーモザンビークにおける平和構築」	国立民族学博物館 企画展示室B
http://www.minpaku.ac.jp/museum/exhibition/thematic/peace20130711/index			
9月12日(木)- 11月26日(火)	10:00-17:00	企画展「台湾平埔族の歴史と文化」	国立民族学博物館 企画展示場A
http://www.minpaku.ac.jp/museum/exhibition/thematic/taiwan20130912/index			
9月13日(金)- 10月14日(月・祝)	10:00-16:30	企画展示「渋沢敬三からのメッセージ 渋沢栄一 「青淵翁記念室」の復元×渋沢敬三の夢みた世界」	国文学研究資料館 展示室
http://www.nijl.ac.jp/pages/event/			

9月19日(木)– 12月3日(火)	10:00–17:00	特別展「渋沢敬三記念事業 屋根裏部屋の博物館 Attic Museum」	国立民族学博物館 特別展示館
http://www.minpaku.ac.jp/museum/exhibition/special/20130919attic/index			
2日、9日、16日、 23日、11月6日 各水曜日	14:00–15:30	連続講座「くずし字で読む『源氏物語』」(全5回)	国文学研究資料館 大会議室
http://www.nijl.ac.jp/pages/event/			
5日(土)	9:30–17:00	基礎生物学研究所 一般公開2013 「体感！最先端バイオの世界」	基礎生物学研究所
http://open.nibb.ac.jp/			
6日(日)	14:30–15:30	みんなくウィークエンド・サロン— 研究者と話そう 第316回	国立民族学博物館
http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/salon/316			
10月8日(火)– 12月1日(日)		中世の古文書-機能と形-	国立歴史民俗博物館
http://www.rekihaku.ac.jp/exhibitions/project/index.html			
8日(火)	14:00–16:00	第271回日文研フォーラム「ブラジルの日本語文学」	ハートピア京都3階大会議室
http://www.nichibun.ac.jp/ja/			
11日(金)	14:00–16:30	人間文化研究機構 第22回公開講演会「画像資料による日本人移民への新視点—満洲・ブラジル・南洋」	国際日本文化研究センター 講堂
http://www.nichibun.ac.jp/ja/			
12日(土)	13:00–15:00	歴博講演会 第358回 「木と炭素14のちよつとい関係」	国立歴史民俗博物館 歴博講堂
http://www.rekihaku.ac.jp/events/lecture/index.html#j			
13日(日)	13:30–16:30	公開シンポジウム 「渋沢敬三を語る—偉大なる学問の庇護者」	国立民族学博物館 講堂
13日(日)	14:30–15:30	みんなくウィークエンド・サロン— 研究者と話そう 第317回	国立民族学博物館
http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/salon/317			
13日(日)– 14日(月・祝)		国際シンポジウム「博物館コレクションの中のシベリア、極東諸民族の文化—収集、保存、展示方法の検討」	国立民族学博物館 第4セミナー室
14日(月・祝)	10:00–16:30	第15回自然科学機構シンポジウム 「アストロバイオロジー(宇宙における生命)」	学術総合センター 一橋講堂
http://www.nins.jp/public_information/sympo15.php			
16日(水)	15:30–17:00	国文研フォーラム(第23回)	国文学研究資料館 オリエンテーション室
http://www.nijl.ac.jp/pages/event/			
17日(木)	18:30–19:45	国立情報学研究所平成25年度第5回市民講座「社会基盤としてのオープンデータ～みんなで作ろう、使おう、オープンデータ～」	学術総合センター
http://www.nii.ac.jp/event/shimin/			
18日(金)– 19日(土)		三鷹・星と宇宙の日2013(三鷹地区特別公開)「アルマ望遠鏡で探る銀河と惑星のルーツ」	国立天文台 三鷹
http://www.nao.ac.jp/open-day/2013/			
18日(金)– 22日(火)	10:00–16:30	企画展示「周流する記録—長野で発見された台湾の古文書」	国文学研究資料館 展示室
http://www.nijl.ac.jp/pages/event/			
19日(土)	13:00–16:30	第91回「中世の古文書-機能と形-」	国立歴史民俗博物館 歴博講堂
http://www.rekihaku.ac.jp/events/forum/next.html			
19日(土)	13:30–15:00	みんなくゼミナール【企画展関連】「心の武装解除—モザンビーク「武器をアートに」プロジェクトを考える」	国立民族学博物館 講堂
http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/seminar/425			
20日(日)	14:30–15:30	みんなくウィークエンド・サロン— 研究者と話そう 第318回	国立民族学博物館
http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/salon/318			
25日(金)	18:30–20:40	みんなく公開講演会「ミャンマー刻んだ歴史 未来へのまなざし」	日経ホール 主催:国立民族学博物館
http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/alp/20131025			

26日(土)	13:30-15:30	第175回「暮らしの中に息づく植物」	国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑
	http://www.rekihaku.ac.jp/events/schedule/index.html#c		
26日(土)	13:30-16:30	第92回「民俗表現の現在-博物館型研究統合の視座から-」	国立歴史民俗博物館 歴博講堂
	http://www.rekihaku.ac.jp/events/forum/next2.html		
26日(土)	15:00-16:30	日本文学研究専攻 特別講義「漱石と英国史」	国文学研究資料館
27日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロン— 研究者と話そう 第319回	国立民族学博物館
	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/salon/319		
29日(火)- 12月1日(日)		海を渡った漆器Ⅱ-江戸時代の輸出漆器-	国立歴史民俗博物館
31日(木)	10:00-16:30	日文研一般公開	国際日本文化研究センター 講堂
	http://www.nichibun.ac.jp/ja/		

11月

日程	時間	行事名	場所
1日(金)	13:30-16:00	「古典の日」講演会	ベルサール神田 主催:国文学研究資料館
	http://www.nijl.ac.jp/pages/event/		
2日(土)	12:30-16:30	国立遺伝学研究所 公開講演会2013 知りたい!生命科学の最先端	秋葉原コンベンションホール
	http://www.kokai-koenkai.jp/		
3日(日・祝)	13:30-15:30	研究公演「共振する大地のリズム—ブルキナファソ・カバコと佐渡・春日鬼組の競演」	国立民族学博物館 講堂
	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/slp/131103		
11月6日(水)- 12月1日(日)		伝統の古典菊	国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑
7日(木)-	10:00-16:30	常設展示「和書のさまざま」	国文学研究資料館 展示室
	http://www.nijl.ac.jp/pages/event/		
7日(木)-	13:30-16:30	公開講演会「統計学が切り拓く脳科学、脳工学の未来」	統計数理研究所 大会議室
	http://www.ism.ac.jp/kouenkai/		
9日(土)	13:00-15:00	歴博講演会 第359回 「中世の古文書を考える」	国立歴史民俗博物館 歴博講堂
	http://www.rekihaku.ac.jp/events/forum/eizou.html		
9日(土)	9:30-16:00	オープンキャンパス 世界に誇るプラズマ科学の最先端	核融合科学研究所
	http://www.nifs.ac.jp/welcome/2013/		
9日(土)	10:00-17:00	スターアイランド2013(VERA 小笠原観測局特別公開)	国立天文台 VERA 小笠原観測局
10日(日)	13:30-16:30	みんなく映画会/みんなくワールドシネマ「人生、ブラボー!」	国立民族学博物館 講堂
	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/fs/movies1311		
10日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロン— 研究者と話そう 第320回	国立民族学博物館
11日(月)- 22日(金)	9:30-16:50	アーカイブズ・カレッジ短期コース	遠野市立図書館 他 主催:国文学研究資料館
	http://www.nijl.ac.jp/pages/event/		
16日(土)	13:30-15:00	みんなくゼミナール【企画展関連】「台湾平埔族の歴史と文化」	国立民族学博物館 講堂
	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/seminar/426		
17日(日)20日(水)- 24日(日)		歴博映像祭「映像民俗学の先駆者たち: 渋沢敬三と宮本馨太郎」	国立歴史民俗博物館 歴博講堂
	http://www.rekihaku.ac.jp/events/forum/eizou.html		
18日(月)- 21日(木)		第23回国際土岐コンファレンス「大規模シミュレーションと核融合科学」	セラトピア土岐 主催:核融合科学研究所
	http://itc.nifs.ac.jp/		

19日(火)	18:30-20:00	市民学術講演会 ダイオウイカとの出会い ー最 新技術でせまる深海の世界ー	土岐市文化プラザ サンホール 主催:核融合科学研究所
	http://www.nifs.ac.jp/		
20日(水)	15:30-17:00	国文研フォーラム(第24回)	国文学研究資料館 オリエンテーション室
	http://www.nijl.ac.jp/pages/event/		
23日(土・祝)	13:30-15:30	第176回「菊の名は」	国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑
23日(土・祝)	13:30-16:00	【新日本の文化展示関連】研究公演「雄勝法印神 楽みんぱく公演」	国立民族学博物館 講堂
	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/slp/131123		
24日(日)	14:30-15:30	みんぱくウィークエンド・サロンー 研究者と話そう 第321回	国立民族学博物館
11月26日(火)ー 5月6日(火・振)		さまざまな節供	国立歴史民俗博物館
26日(火)	18:30-19:45	国立情報学研究所平成25年度第6回市民講座「ど こでもビジュアルコミュニケーション～逆境を克服 する画像処理～」	学術総合センター
	http://www.nii.ac.jp/event/shimin/		
11月30日(土)ー 12月1日(日)		第37回 国際日本文学研究集会	国文学研究資料館 大会議室
	http://www.nijl.ac.jp/pages/event/		

12月

日程	時間	行事名	場所
1日(日)	14:30-15:30	みんぱくウィークエンド・サロンー 研究者と話そう 第322回	国立民族学博物館
12月3日(火)ー 1月26日(日)		冬の華・サザンカ	国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑
8日(日)	14:30-15:30	みんぱくウィークエンド・サロンー 研究者と話そう 第323回	国立民族学博物館
14日(土)	13:00-15:00	歴博講演会 第360回 「採石の民俗誌」	国立歴史民俗博物館 歴博講堂
15日(日)	14:30-15:30	みんぱくウィークエンド・サロンー 研究者と話そう 第324回	国立民族学博物館
21日(土)	13:30-15:30	第177回「サザンカの名前とその変遷」	国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑
21日(土)	13:30-15:00	みんぱくゼミナール「カザフの死者儀礼ー日常から 展望するイスラーム」	国立民族学博物館 講堂
22日(日)	14:30-15:30	みんぱくウィークエンド・サロンー 研究者と話そう 第325回	国立民族学博物館

【教員の受賞情報等】

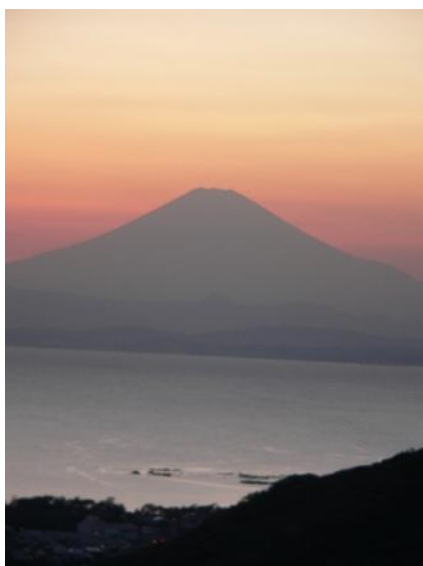
- 生命科学研究所
基礎生物学専攻 村田隆准教授 他
「日本植物形態学会平瀬賞」受賞
- 物理科学研究科
機能分子科学専攻 柳井 毅准教授
構造分子科学専攻 古谷 祐詞准教授
「第6回(2013年度)分子科学会奨励賞」受賞
- 物理科学研究科
核融合科学専攻 後藤 基志准教授
「第2回自然科学研究機構若手研究者賞」受賞
- 複合科学研究科
情報学専攻 小野 順貴准教授
「音響系コンテスト 高品質かつ高耐性賞」受賞

【編集後記】

総研大ニューズレター65号をお届けします。

9月27日の学位記授与式で学位を取得された皆さま、おめでとうございます。皆さまは、これから世界を舞台に大きく羽ばたいていくものと期待されております。今後のご活躍をお祈りいたします。

先日、本学入学式のピアノ演奏をお願いしている碓井俊樹氏からキンダーシンフォニエッタ～0歳からのコンサート～のご招待を受け、鑑賞してきました。音響設備が整った大ホールでの、オーケストラ演奏は素晴らしいものでした。会場には子供が多く、バイオリンやチェロで蜂を表現したり、森の熊さんを全員で歌ったりと本学の式典演奏とは違った雰囲気のコンサートでした。音楽の秋を堪能した一日になりました。



広報室 T.W

◎各専攻で教員や学生がメディアに出演が決まっている場合や、発表や表彰等があった際にはご連絡ください。またメディア等に出演される場合は、可能な限り「総合研究大学院大学」と表記していただけますようご協力お願いします。

発行 2013年10月7日

編集



国立大学法人

総合研究大学院大学

THE GRADUATE UNIVERSITY FOR ADVANCED STUDIES

広報委員会

神奈川県三浦郡葉山町（湘南国際村）

総務課（担当）

TEL 046-858-1500/FAX 046-858-1542

©2013 SOKENDAI